

輝き Harmony

児童数 357人 No.11

ホームページは、「松江小学校」で検索してください。

学校教育目標

学び続け、つながり合い、笑顔かがやく松江の子
めざす子ども像

- ・意欲的に学び続ける子（あきらめずにチャレンジする子）
- ・自分、なかま、人権を大切にする子
- ・命を大切にし、心と体を鍛える子



11月9日（土）は文化祭・学習発表会です。



朝夕は、冷える日もありすいぶん秋らしくなってきました。日中は、体を動かすと汗ばむ日もあり寒暖差には十分気をつけなければならない季節です。今週土曜日は、文化祭・学習発表会です。ホームページでもお伝えしていますように子どもたちは、毎日一生懸命、学習に発表会の練習にと励んでいます。その成果を發揮できますよう、当日に元気に登校してきてほしいです。保護者のみなさまには、子どもたちが衣服で調節できますよう、また上着の落とし物もありますので、名前を書いていただきますよう、よろしく願いいたします。

読書の記録・・・更新中 がんばっています。



11月1日からのチェックシートにもファミリー読書のおすすめがあります。

読書活動表彰の松江っ子を紹介します（11月5日まで）

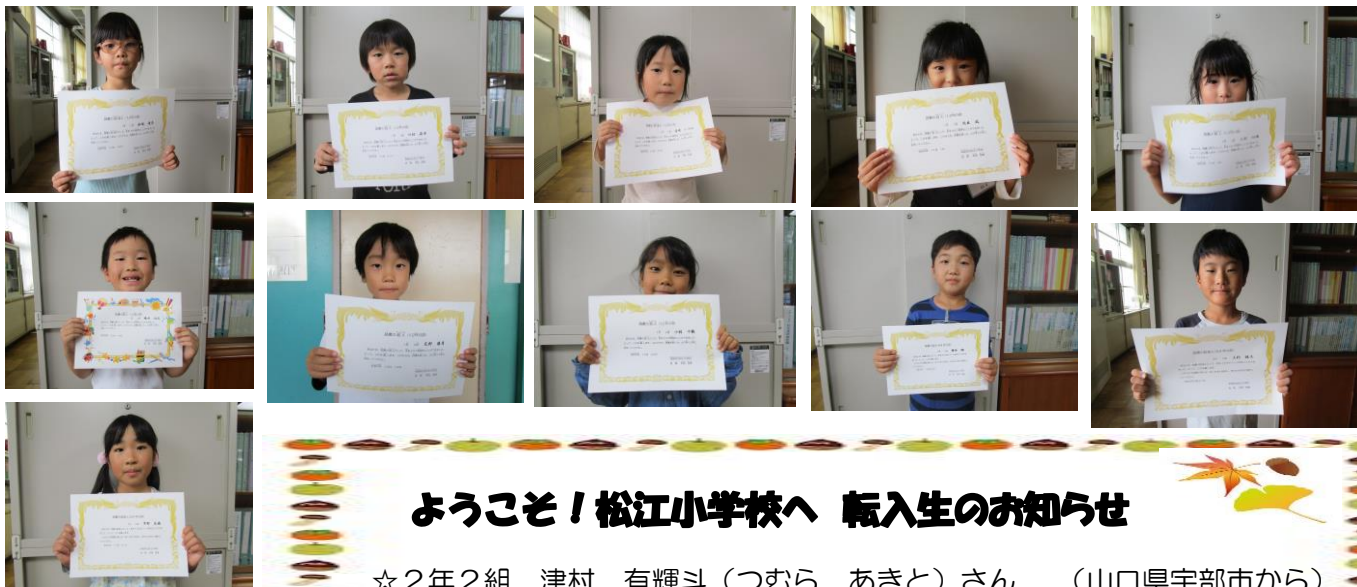
低学年の部【読書達人 100 さつ】【読書超達人 150 さつ】【読書超人 300 さつ】【読書超超人 500 さつ】

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1-1 水越 優奈さん 超達人 10/16 達成！ | 1-2 上村 心湖さん 超人 10/3 達成！ |
| 1-1 川村 莉希さん 超人 10/21 達成！ | 1-2 嶋田 壮汰さん 鉄人 10/18 達成！ |
| 1-1 宮崎 いろはさん 超達人 10/25 達成！ | 1-2 天野 陽月さん 超人 10/18 達成！ |
| 1-1 加藤 遙馬さん 達人 10/29 達成！ | 1-2 小林 千鶴さん 超人 10/25 達成！ |
| 1-1 北出 凧さん 超人 11/1 達成！ | 1-2 小出 響生さん 達人 10/29 達成！ |
| 2-2 森田 貴翔さん 達人 10/25 達成！ | 2-2 小泉 岳大さん 達人 10/29 達成！ |

中学年の部【読書達人 8000 ページ】【読書超達人 12000 ページ】【読書超人 24000 ページ】

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 3-1 奥谷 珀さん 超人 10/25 達成！ | 4-2 長島 英汰さん 達人 10/16 達成！ |
| 3-2 上村 旺大さん 超達人 9/27 達成！ | 4-2 吉田 蒼唯さん 達人 10/29 達成！ |
| 3-2 宇野 花穂さん 超達人 10/21 達成！ | |

※表彰された超達人以上のみなさん



ようこそ！松江小学校へ 転入生のお知らせ

☆2年2組 津村 有輝斗（つむら あきと）さん（山口県宇部市から）

全国学力・学習状況調査について

4月18日に実施し、その後、自校採点を行い、分析後以降に授業改善を図ってきました。さらに7月末に文部科学省から詳細なデータが送られてきましたので、合わせて、成果や課題等について報告させていただきます。

それぞれの平均正答率(%)は、次の通りです。

	松江小学校	三重県	全国	全国との差異
国語	73	64	63.8	+9.2
算数	75	67	66.6	+8.4

【国語】についての分析

〈成果〉

- 文章で答える問題の無解答率が低く、最後まで粘り強く答えようとする意欲が見られます。
- 最後の問題の無解答率が0%になっており、全員が時間配分を考え、最後まであきらめずに取り組むことができています。

※上記は、日々の授業や家庭学習で低学年のころから書く指導を中心に、言語活動を丁寧に取り組んでいたり、全学年朝のチャレンジタイムで、時間を決めて問題に取り組んできたりしている成果が表れていると考えられます。

- 問題番号1三「公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く」問題では、本校正答率は48.4%で全国より19.6ポイントも高いです。この問題の出題趣旨は「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして、まとめて書く」ことができるかです。

※このように高かったのは、条件や本文に線を引き、条件の漏れがないように書いていた子が多くいたことではないかと考察します。これまでの学習の中で問題を解く工夫を習得したり、みえスタディチェックや標準学力調査の解き直しをしたりすることで、積み上げができてきた成果が表れていると考えられます。

本校では「みんなで学び合う授業」をめざし、「自分の思いや考えを伝える力(話す力)」「正しく聴く力」を育成するために日々、教育活動の中で取り組んでいます。その中でまずはペア学習やグループ学習を通して、考えを伝え合い、認め合う姿を培っています。その積み重ねが成果として表れているのではないかと考えられます。

〈課題〉

- 問題番号1四(1)ア「調査のたいしょう」、イ「友達にかぎらず」線の部分を漢字を使って書き直す問題では、無解答率が、アでは、1.2ポイント三重県より高く、イでは、5.6ポイント全国、三重県より高いです。この問題の出題趣旨は、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」ことができています。

※文の中で意味に合った漢字を正しく使うことができるように、漢字が書けるだけでなく、漢字の意味も合わせて理解し、文の中で適切に使えるような学習や復習を行っていく必要があります。本校では、学年に応じた学習の手引きを配付させていただいております。自主学習も勧めており、チャレンジしている子どもも少なくありません。同音異義語や文法の学習も既習して終わりではなく、日々の教育活動の中に折に触れて話題にしていくことで、定着を高めるようにしていきます。

【算数】についての分析

〈成果〉

- ・記述で答える問題の無解答率が低く、最後まで粘り強く答えようとする意欲が見られます。
- ・最後の問題の正答率が全国より22.9ポイントも高く、最後まであきらめずに取り組むことができます。

※上記は、国語科と同様に日々の授業や家庭学習で低学年のころから書く指導を中心に言語活動を丁寧に取り組んでいたり、全学年朝のチャレンジタイムで、時間を決めて問題に取り組んできたりしている成果が表れていると考えられます。

- ・問題番号1(2)「二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして同じ長さの辺どうしを合わせて作ることができる形を選ぶ」問題では、本校正答率は80.6%で全国より20.3ポイント高いです。この出題趣旨は、「図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる」かを見取ります。

※このように高かったのは、第5学年での既習時に実際に図形を動かしてみたり、モニターを使って学習したりすることで、図形を頭の中でイメージして動かすことができる力がついているということが考えられます。

- ・問題番号4(3)「残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する」問題では、本校正答率85.5%で全国より22.9ポイント高いです。この出題趣旨は、「場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる」かを見取ります。

※このように高かったのは、第5学年で既習した「単位量当たりの大きさ」が活用できていることが分かります。3ポール分進むのに9分かかったことから1ポール分進むのに3分かかっていることを立式し、24分間以内に着くことができると導き出すことができます。

〈課題〉

- ・問題番号1(3)「減法の式が示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く」問題では、本校正答率43.5%で全国より0.4ポイント下回りました。

※「 $20-4$ 」は、何を表すのかを答える問題ですが、20は長方形の面積を表し、4は三角形の面積を表していることは、説明しているがなぜ、20から4を引いているかの説明を記述していない子がほとんどでした。問いに対して正対して解答することの大切さを全学年通して指導していきます。

- ・問題番号3(4)「 $1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ」問題では、本校正答率46.8%で全国より0.2ポイント下回りました。

※ $180 \div 0.6$ の計算の意味が理解できていないことが分かります。今後は、4年生で既習した割り算のきまりや小数の除法、整数の除法について何を求めているのかを、具体物や図、数直線などを用いて考察する活動を多く取り入れ、定着を図っていきます。

- ・問題番号4(1)「だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ」問題では、本校正答率75.8%で全国より6.9ポイント下回りました。

※前から数えて20番目のはるとさんが何分後に乗り物券が買えるかという挿絵入りの問題です。4択にもなっており、目的に適した伴って変わる二つの必要な数量は「人数」と「時間」であることが選択できるかが問われていました。必要でない「列の長さ」や「5分後の時刻」などを選択している子が多くいました。問題文から考えられることを図や絵に表す習慣をつけることを取り入れていきます。

【児童質問紙】より 「当てはまる+どちらかといえば、当てはまる」の合計
全国より10ポイント以上高い項目

◎「学校の授業時間以外に、平日1日当たりどれくらい勉強をしますか。」(1時間以上)

本校 76.2% 全国 66.1%

◎「昼休み、放課後、休日に本を読んだり、借りたりするために学校図書館、学校読書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。」(毎月または毎週)

本校 50.9% 全国 40.5%

◎「読書は好きですか。」・・・17ポイントも上回っています。

本校 92% 全国 75%

◎「新聞を読んでいますか」

本校 33.3% 全国 19%

◎「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。」

本校 66.7% 全国 54.5%

◎「5年までに受けた授業で、ICTをどの程度使用しましたか。」(毎週)

本校 46% 全国 30.6%

◎「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題をどのように解答しましたか。」

1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した・・・11.7ポイント上回っています。

本校 92.1% 全国 80.4%

◎「算数の勉強は好きですか。」・・・18.7ポイントも上回っています。

本校 87.3% 全国 68.6%

◎「算数の授業の内容はよく分かりますか。」

本校 95.3% 全国 83.5%

◎「解答時間は十分でしたか(国語)」

本校 85.8% 全国 74.2%

※学校読書室や地域の図書館をよく利用し、読書好きの傾向が高いです。これは、毎年、新しい本を寄贈していただき、読書感想文コンクール優秀作品を同窓会より表彰していただいていることや、学校、学級でも読書量に応じて表彰をし、学校だよりに掲載することで読書を推進していることが子どもたちの読書好きになる要因と考えることができます。合わせて、学校近隣に地域の図書館があるということも好影響だと考えます。また、ICT活用も全クラスにモニターやアクセスポイントが設置されていることから、いつでもどの教科でもipadや書画カメラが活用できる環境となっており、子どもたちの学習環境が整っていることも学力向上にはなくてはならないものと考えます。

また、国語や算数の調査を受ける際に最後まであきらめずに解答していることは、1年生の時から積み上げが発揮できていると考えられます。

全国より4ポイント以上低い項目

△「自分には、よいところがあると思いますか」

本校 81% 全国 81.2%

△「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」

本校 74.6% 全国 79%

※この項目は、『自己肯定感』がはかれるところですが、やや自分に自信が持てない傾向にあるようです。子どもたちは、失敗したり、間違ったりすると笑われたり、冷やかされたりするのではないかと不安に思っていることが多いようです。誰でもうまくいかなかったり、失敗したりすることがあり、どうすればうまくいくかを自分で考えたり、友だちと相談したりしながら解決することが自分の成長につながることを日々の教育活動を通して伝えていきたいと思えます。